～市長が語る～「わがまちの今・これから」主な質疑応答の要旨

日　時：平成２９年５月１４日（日）１０：００～１１：２０
場　所：平川公民館　視聴覚室
出席者：副市長、企画財政部長、企画課長、財政課長、秘書広報課長　他
参加者：５３名（男性４０名・女性１３名）

【市長説明項目】
第１部　わがまちの「今」
第２部　わがまちの「これから」

【主な質疑応答の要旨】
参加者：不法投棄や残土対策についてお願いがあります。東京五輪の関連工事による残土の不法投棄が想定されますが、議会で残土条例が否決されてしまいました。一度汚染された土地は元に戻りません。平川地区は残土の投棄が多いので、子々孫々に被害が及ぶことのないよう十分な監視を行い、環境のよいきれいな土地を残してもらいたいと思いますので、確実な監視をお願いします。

副市長：残土条例の否決は残念な結果でした。地域の自然環境を守るため、どのようにしたらいいのか検討し、しっかりとしたチェック体制をとり、残土問題に取り組んで行きたいと思っていますので、ご協力をお願いいたします。

参加者：有害鳥獣のイノシシ対策として、農地に対して進めているようですが、行き場を失ったイノシシが団地でも出ます。檻を設置すると捕獲され、子どものイノシシまで出没する状況です。民家の庭に穴をあけるなど、被害は酷いものがあります。農林振興課の方は対策をしてくれますが、檻が不足しているのか、お願いしてもまわってきません。百合の花もイノシシの被害により絶えてしまいます。対策を強力に進めてください。また、罠の免許を取る場合の補助も、他市のように全額にすると、免許を取る人が増えると思います。

副市長：有害鳥獣対策の強化を図っているところですが、いたちごっこになってしまっています。予算も増やし、施策も講じています。南房総の市の中には、有害鳥獣の問題は災害だということで、国へ要望に行くケースもあると聞いています。今後もご相談しながら取り組んで行きたいと思います。

参加者：防災対策についてですが、昨年の社会教育推進大会で防災組織の在り方について話を聞きました。防災組織は男性主体の組織が作られがちですが、女性を副長というような職に就いてもらうことにより、多方面から配慮をして、災害時に困る人が出ないようにしてもらいたいと思います。

また、訓練の実施日についてですが、災害は曜日や時間帯を問わず起こりますので、訓練も、曜日や時間帯等を問わず実施してください。

以前に、小櫃川の氾濫が懸念されたとき、このあたりの防災の拠点となる公民館が施錠されていて開かないということがありました。また、車いすのタイヤに空気が入っていなくて使用できないということもありましたので、設備の維持管理や、施設の適切な運用を念頭に対策を行ってください。

副市長：設備等については、早速、点検します。訓練も画一的なものにならないよう、実践に即したメニューを組んで実施していきたいと思います。